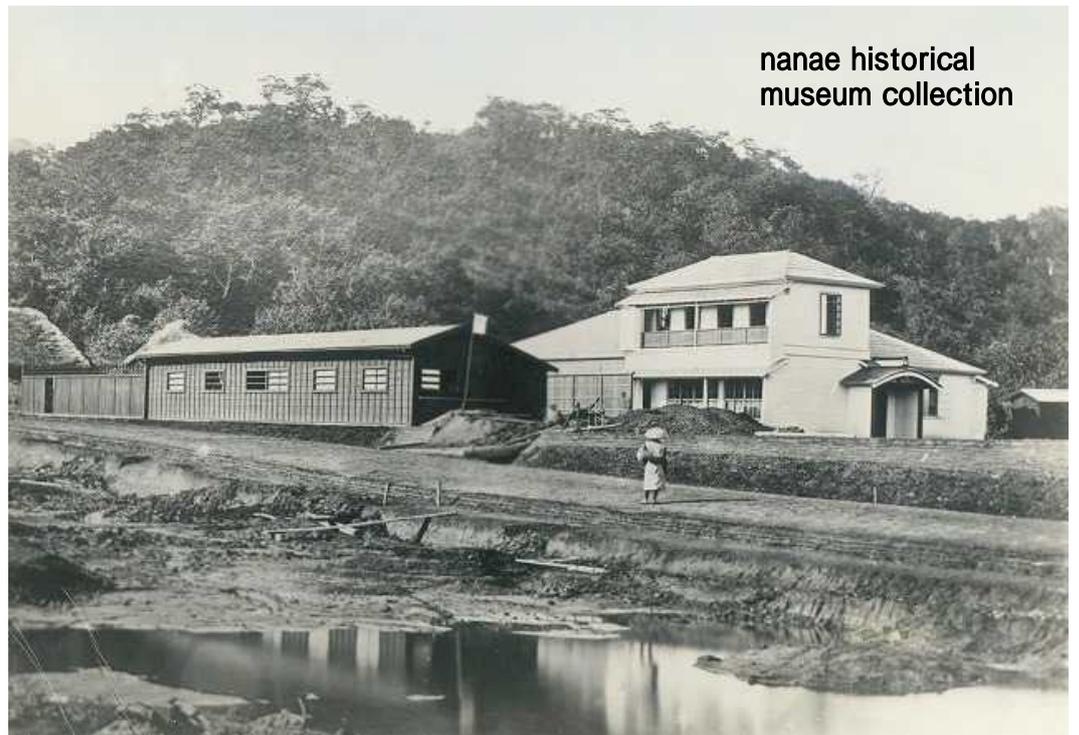


# Rich ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第11号

nanae historical  
museum collection



## ななえ古写真物語

VOL. 11

### 国道5号の昔

～峠下ホテル～

旧峠下小学校付近

写真は、明治5年頃に撮影。

原本所蔵 北海道大学付属図書館

七飯町を縦断するように走っている国道5号は、わたしたちの生活に欠かせない主要な道路であり、沿道に植栽された約14 kmにもおよぶ赤松並木は、「赤松街道」として慣れ親しまれています。そして、その歴史は、明治5年に開拓使が「札幌本道」として開削した日本初の西洋式馬車道であることに始まり、多少の路線変更があるものの、今でも町の基幹路線として活用され続けている貴重な文化財でもあります。

上の写真は、「七飯町史」の編纂にあたり北海道大学付属図書館所蔵の原本を複写した開削当時の様子で、よく見ると杭が打たれ、そのかわらには、削平の痕跡や掘削によって生じた土盛りがみられ、道路工事の真っ只中であることが伺えます。さらにその奥には、2階建てと長屋風の建造物が見られますが、2階建ての建物は「峠下ホテル」とか「峠下本陣」と呼ばれ、道路開削時に、工事事務所や病院・宿泊所などの役割を果たした施設です。一方、長屋風の建物は、ホテルに付属する施設で、後に峠下小学校の前身である嶺下学校になったといえますから、この場所が、現在の旧峠下小学校跡地付近であることが想像できます。

一説によると、峠下ホテルは、五稜郭内にあった建物を移して（もしくは解体してその材料を使った？）建てられたといわれます。このことは、ベランダ風の構造をした2階部分や、両手開きのガラス窓の存在など、当時では珍しい洋風建築の要素を取り入れている反面、玄関の屋根部分が、和風建築であることに関係しているのかもしれませんが。

札幌本道の開通後、このホテルは、駅通（現在の「道の駅」や高速道路のサービスステーションみたいなもの）のような役割を果たしていましたが、明治14年の明治天皇行幸の折には行在所にあてられ、明治天皇がご昼食をお召し上がりになりました。この時、峠下村の竹田栄吉が御飲料水を差し上げ、金50銭を賜っています。この行幸を記念し、大正14年になってから「御駐蹕之地」という石碑が建立しましたが、この石碑は今でもホテル跡地に残されています。

残念ながら、峠下ホテルの建物はその後、大野村に払い下げられたため、今となっては、その姿を見ることができませんが、往時の様子を写した一枚の写真が、かつて宿場町でもあった峠下地区の歴史を彷彿とさせてくれます。

5日

特別展「男爵薯百年史」に関連し、川田龍吉男爵の孫にあたる川田雄基氏を招いて記念講演会「男爵薯を生み出した男」を開催しました。講演前には、セレモニーとして道南ポテト踊り保存会様の演舞を披露して頂いたり、町内の生産農家様の食材提供によって作られたカレーライスが振舞われました。



ポテト踊りの様子



講師の川田雄基氏

講演の方も多くの方にご参集頂きました。講師先生からは、孫の立場から、イギリスへ留学し、農業と工業の融和を目指した川田龍吉男爵の姿や思想について、貴重なお話をいただきました。お力添えいただいた関係各位の方には、この場をかりて厚くお礼申し上げます。

11日

ふぁみりーでいみゅーじあむで「ほくほくやきいも！」を開催しました。この日は、自分の背と同じくらいのクワを使って掘り出したいもをぬれた新聞紙とアルミホイルで包んで、薪ストーブに直接いれ、焼きいもをつくりました。日程の変更もあり、大部分の方が参加できなかったのが、残念でしたが、ほくほくとして美味しいいもを楽しんだ1日になりました。



よっこらしょ!



あついから  
気をつけて!

畑から土器が採れる?



寄贈された土器

ある日、町議員の方が「知り合いの畑から出たので、見て欲しい」と新聞紙で丸く包んだものを持ってきて下さいました。一瞬、キャベツかな?と思わせる包みの中には、縄文時代晩期の土器がほぼ完全な形で納まっていました。よく今まで無事に眠っていたと驚かされました。その後、発見者の方に連絡をして、当館の資料として大切に保管することになりました。本当に、有難うございます。

12月の予定

1	月
2	火
3	水 夜の博物館
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火 天皇誕生日
24	水
25	木
26	金
27	土 ジュニア探検クラブ
28	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
29	月
30	火
31	水 年末休館日

・定員20名(先着順)  
・対象 一般  
・受講料 800円  
・詳しくは、歴史館まで

12月31日～1月5日は休館になります。

文化祭の会場になりました!

今年も、当館が文化祭の第二会場になり、親子連れを中心に賑わいました。盛り上げて下さいました友の会と郷土史研究会の皆様、ありがとうございます。(S)



編集後記 ~tawagoto~

今年度になって、ようやく少しゆったりとした時を過ごしている。ここ何日か小春日和が続いているので、町の様子を記録しておこうと、カメラをもって外勤。リンゴ畑や稲刈り後の水田地帯、大沼周辺など、秋を感じさせる多くの景色を堪能し、良い1日だったと思っていたのだが、戻って自分のデスクを見ると留守中にあった問い合わせの箇条書きが・・・、秋の夜は長いとはこの事かと、ため息混じりの笑いがこみあげた。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~ 第11号

平成20年11月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp